

■ 2023年度第2学期第1期 学習会・ゼミナールのお知らせ

福井学習センターの所長及び客員教員の先生方の専門分野についてテーマを設け、『学習会』『ゼミナール』を開講しています。

【第2学期 第1期（10月～12月）に4回】

【第2学期 第2期（2月～3月）に3回】

※（実施回数等は都合により変更になることがあります。）

福井学習センターの学生を基本的に対象としますが、他の学習センター学生も可とします。

受講料は無料で、単位は修得できません。皆様のご参加をお待ちしています。

※福井学習センター Web ページからも閲覧いただけます。➡



学習会

1テーマ全回出席できる方。『学習会』は第2学期の第1期4回、第2期3回の計7回で構成されており（一部例外あり）、内容が連続するため、全て出席できる方が望ましいですが、単発での希望者も受け付けています。

ゼミナール

卒業研究及び大学院進学を考えている学生を対象に、先生方の専門分野の論文等を読み・解説し、更に事例検討会・実技等を通して各自の目的に繋がる『ゼミナール』を行います。1テーマ全回出席できる方。『ゼミナール』は原則として15回（1年）で構成されています。15回全て出席できる方が望ましいですが、半年または3カ月のみの希望者も受け付けています。

申込方法

電話（0776-22-6361）または当センター事務室で直接お申込みください。事前に申し込みをされていない方、または受講者多数の場合は、受講をお断りすることがありますのでお早めにお申し込みください。

定員

学習会 ➡ 各講座 10名程度 ゼミナール ➡ 各講座 7名程度

申込期間

第1期（10月～12月）の申込期間となります。各講座記載の申込締切日までに申込ください。

学習会テーマ

【教育と学習 3 学習者との関りから考える教育 1】

岸 俊行 先生



専門：教育心理学

11/15(水)、12/6(水)、12/13(水)、12/20(水) 【14:00～16:00】

日本の子供達の特徴として、勉強は嫌いだけど成績の良い子は多いという問題点がクローズアップされている。これは、勉強に対して真摯に取り組んではいけるけれども、勉強自体を好きになれていない日本の子供達の姿を現しているともいえる。これらは、教育者側と学習者側の関りの問題でもあります。第2学期では、教育者と学習者の関りについて、動機づけ理論や学習理論を紹介しながら、皆さんとともに考えていけたらと思っています。

申込締切日 11/12(日)

学習会テーマ

【軍隊と地域社会の関係を考える】

木村 美幸 先生



専門：日本近現代史

11/26(日) 【10:00～12:00】
【13:00～15:00】 12/17(日) 【10:00～12:00】
【13:00～15:00】

日本における軍隊と地域社会の関係について、最新の研究成果をもとにお話しします。ロシア・ウクライナ戦争が続くなか、近現代史から軍隊と地域社会の関係について考えていければと思います。意欲のある学生のみ皆さんの参加をお待ちしています。

申込締切日 11/22(水)

学習会テーマ

【なんでも恐竜アカデミー】

柴田 正輝 先生



専門：古生物学

※2023 年度第 2 学期第 1 期（10 月～12 月）は、
本務の都合により休講とします。

ゼミナールテーマ

【特別支援教育と共生社会】

石井パークマン麻子
先生



専門：特別支援教育

10/29 (日)、11/11(土)、11/25(土)、12/16(土) 【14:30～16:30】

平成 19 年度に始まった日本の特別支援教育は、15 年を経た今も学校現場での課題は少なくありません。障害のみならず「ちょっと変わった人たち」と見られがちな言葉や目の色・皮膚の色が異なる人たちとの相互理解と共存は、共生社会を目指す日本にとって必要不可欠で大きなチャレンジです。

このゼミナールでは、特別支援教育の教師として長年にわたり日本とスウェーデンで仕事をした講師自身の経験と知見も交えながら、「多様性の時代」を生きる日本の子どもたちの教育について多角的な視点から考えを深めるとともに、受講生それぞれが主体的に取り組めるような工夫をしながら、卒業研究や修士論文の構想にもつなげていきたいと考えています。

※適宜テーマ関連の文献紹介や資料配布をします。

申込締切日 10/22(日)

ゼミナールテーマ

【有限体とその応用】

小野田 信春 先生



専門：可変代数学

11/18(土)、12/2(土)、12/9(土)、12/23(土) 【14:00～16:00】

体とは、四則演算で閉じた集合のことです。有理数体、実数体、複素数体などがその例ですが、これらはすべて無限集合です。それに対し、有限集合で体であるものを有限体と呼びます。たとえば、0 と 1 だけから成る「2 元体」が具体例です。有限体は、もともとは整数論などで使うために、純粋に数学的な目的で考えられたものですが、現在では、幅広い応用が見出されています。

このゼミナールは、有限体の一般論を学び、次いでその応用として符号理論について学びます。

申込締切日 11/15(水)

ゼミナールテーマ

【西洋絵画作品の画法と技法】 ※本務の都合により3回の開催とします

湊 七雄 先生



専門：美術（絵画・版画）

11/12(日)、11/19(日)、12/9(土) 【10:00～12:00】

西洋美術の歴史に残る巨匠たちはどのような制作環境で、どのような用具や材料を用いて絵画作品を描いたのでしょうか。

このゼミナールでは、講義と実技（作品制作）を交えた実践的学習をとおし、表現者として、また美術のよき理解者としての幅広い視野と豊かな創造力を養うことを目標としています。

主に西洋絵画作品の画法と技法に注目し、講義と簡単な模写を主軸とした画法・技法分析をとおして、西洋絵画作品をより深く理解することを目指します。

申込締切日 11/9(木)

【準備物】筆記用具、水彩絵の具一式